

令和4年度

ニホンザル管理事業実績報告書(市町村実施分)

白石市	1 ページ
角田市	2 ページ
蔵王町	3 ページ
七ヶ宿町	4 ページ
川崎町	5 ページ
丸森町	6 ページ
仙台市	7 ページ
大和町	8 ページ
山元町	9 ページ
加美町	10 ページ

令和5年8月

宮城県環境生活部自然保護課

令和4年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

白石市

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ (3) 作物 稲、果樹、野菜、いも類 (4) その他	2.61 ha 1.57 ha 2,947 千円 2,847 千円	1 被害状況 (1) 面積 1.86 ha (2) 金額 3,454 千円 (3) 作物 稲、豆類、果樹、野菜、いも類 (4) その他		
2 被害防除対策 (1) 銃器・花火による群れの追い上げ及び捕獲の実施 (2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助 (3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう指導の徹底		2 被害防除対策 (1) 実施隊による銃器での追い上げ、捕獲を実施した。追い払い用火火を配布した。 (2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助を行った。		年間被害対策費合計 5,954 千円 捕獲事業:280千円 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会:5,645千円 電柵等への補助金:29千円
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 (群れ捕獲実施予定)	0 頭 50 頭	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 有害鳥獣捕獲による捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数	0 頭 55 頭 0 頭 1 頭	装着後、昨年度内で捕殺
4 生息環境管理 (1) 水稲の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進		4 生息環境管理 (1) 水田周辺の除草作業を推進するよう、啓発を図った。		急傾斜等による田畑の管理が困難な場所が多く、耕作放棄地も増加しており、地域全体での環境管理が進まない。
5 その他 (1) 被害防除の研修会を開催し、自己防除の啓発を図る		5 その他 (1) 被害防除の情報を提供し、自己防除の啓発を図ることができた。		越河地区区にて研修会を開催し、自己防除の啓発を図ることができた。

令和4年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

角田市

R4計画	R4実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ 0.00 ha 0.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ 0 千円 0 千円</p> <p>(3) 作物 未成熟トウモロコシ、カボチャ、果樹類</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 0.00 ha</p> <p>(2) 金額 0 千円</p> <p>(3) 作物 トウモロコシ、かぼちゃ、柿等</p> <p>(4) その他</p>	<p>ハナレザルによる農作物被害の発生はあったが、軽微なものであった。 実施隊員による追い払い、定期パトロール等、また、農業者による追い払いにより被害を最小限にとどめることができた。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 食べない野菜、果実等放置の防止を周知</p> <p>(2) 定期的パトロールの実施</p> <p>(3) 銃器による追い払い、捕獲の実施</p> <p>(4) 被害内容に応じた諸対策の提案</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 機会を捉えエサとなるものを放置しないよう呼びかけた。</p> <p>(2) 7月初旬から翌年3月初旬まで、実施隊員による定期的パトロールを実施した。</p> <p>(3) 定期的パトロール時や出没时间に追い払い、捕獲を実施した。捕獲はなかった。</p> <p>(4) 被害相談等の際し、自宅の戸締りや同作業場に収穫作物を置かないことを指導、また電気柵設置等の被害対策を紹介した。</p>	<p>年間被害対策費合計 846 千円 住民に対し、食物残さや収穫物をニホンザルが発見しやすい場所に置かないなど、被害を呼び寄せない対策を推奨するとともに、実施隊員2名による定期パトロールや追い払い等により、ごく軽微な被害にとどめた。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 有害鳥獣捕獲による捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数</p>	<p>昨年引き続き捕獲に努めたが、捕獲実績はなかった。しかし、結果として巡回による被害抑止が図られた。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 実施隊パトロール等による生息域の非拡大</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 実施隊員により、被害防止パトロールを実施した。</p>	<p>実施隊員による定期パトロールは、地域の出没情報の収集や被害抑止に効果的であり、生息環境の拡大防止に有効と推量される。</p>
<p>5 その他</p> <p>(1) 住民の被害防止意識の啓発、向上</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 被害相談時に防止のための自己防止対策等を提案した。</p>	<p>依然として住民の被害防止意識の向上が課題であり、引き続き被害防止のための備え等、意識向上に努めていくことが引き続き重要な視点と史料される。</p>

令和4年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

蔵王町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ (3) 作物 林檎、白菜 (4) その他	0.01 ha 0.07 ha 20 千円 29 千円	1 被害状況 (1) 面積 0.09 ha (2) 金額 51 千円 (3) 作物 林檎、スイートコーン、白菜、長芋、デントコーン、トマト、南瓜、枝豆 (4) その他		
2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用火火を併用した効果的な追払い、捕獲の実施。 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。 (3) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。		2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用火火を併用した効果的な追払い、捕獲を実施した。 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施しているが、サルに対して有効な防除対策資材(ワイヤーメッシュ柵+電気柵)が高価なため、設置に対する補助金の申請はなかった。 (3) 目撃報告等があった農家へ餌となる収穫放棄された果樹や野菜、農作物残渣をなくすことを指導した。		年間被害対策費合計 14,927 千円 ・蔵王町農作物有害鳥獣対策協議会町補助金 10,250千円 ・野生鳥獣被害防止施設(電気柵等)設置事業補助金 4,000千円 ・蔵王町狩猟免許所得促進事業補助金 677千円 近年、サルの目撃情報が徐々に増加しており、現在までサルの目撃報告がなかった地域でもハナレザルの目撃報告が寄せられているため、今後も追い払い活動や防除対策等を継続して実施し、今後も群れが生息していない環境を維持していきたい。
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) 生息調査の実施。	0 頭 50 頭 0 頭 2 頭	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 有害鳥獣捕獲による捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数		
4 生息環境管理 (1) 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。		4 生息環境管理 目撃や被害報告があった農家へ耕作地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地へ出沒し難い環境づくりに努めた。		防除対策は行っているが、里山への出沒が多くなった。また、耕作地又は宅地と生息地である森林等との間を除草することにより、人気の少ない山林付近の農地又は宅地でも出沒を大幅に減少させる効果がみられた。
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施。		5 その他 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会と連携して必要な対策を講じた。		今後も引き続き南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策を実施し、被害拡大防止に努めていく。

令和4年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

七ヶ宿町

R4計画		R4実績	評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ 0.01 ha R3被害実績→ 0.02 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 20 千円 R3被害実績→ 26 千円 (3) 作物 水稻、野菜の被害軽減 (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 0.35 ha (2) 金額 944 千円 (3) 作物 水稻、豆類、果樹、野菜 (4) その他		
2 被害防除対策 (1) 電気柵等設置の推奨 (2) 追払いの実施	2 被害防除対策 (1) 電気柵等設置推奨の継続 (2) 追払いの実施		年間被害対策費合計 79,904 千円 昨年度に比べ果樹の被害が多かったために被害額が増加したが、電気柵の効果は出ているため今後も継続して電気柵等設置の推奨を行う
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) 生息調査の実施	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 有害鳥獣捕獲による捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) 生息調査の実施	0 頭 89 頭 2 頭 0 頭	
4 生息環境管理 (1) 農作物収穫残渣の除去 (2) 耕作放棄地の軽減	4 生息環境管理 (1) 広報は行ったが大幅な軽減には至らなかった		周知の徹底、追払い隊による呼びかけ等を積極的に行う必要がある
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施。	5 その他 (1) 効率的な追払い活動及び生息調査の実施、捕獲活動を実施した。		効率的な追払い活動及び生息調査の実施、捕獲活動を実施した

令和4年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

川崎町

R4計画	R4実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ 0.65 ha R3被害実績→ 0.93 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 440 千円 R3被害実績→ 629 千円</p> <p>(3) 作物 豆類、果樹、野菜、芋類</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 1.41 ha</p> <p>(2) 金額 480 千円</p> <p>(3) 作物 豆類、特用作物、芋類、野菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>R3年度と比較し、被害金額は減少したが、被害面積は増加している。 R5については、継続的な電気柵等の推進及びサルパトロールの日数を増加させ、被害の減少を図る。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1)・実施隊による捕獲活動の実施</p> <p>(2)・電気柵の普及、補助</p> <p>(3)・実施隊による週一回の町内パトロール</p> <p>(4)・狩猟免許(銃、わな)取得補助</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 実施隊による捕獲活動の実施</p> <p>(2) 電気柵等の普及、補助</p> <p>(3) 実施隊による週一回の町内パトロール</p> <p>(4) 狩猟免許(銃、わな)取得補助等</p>	<p>年間被害対策費合計 8,133 千円</p> <p>①R4農作物有害鳥獣駆除対策業務金 4,155千円</p> <p>②サルパトロール 1,260千円</p> <p>③電気柵等補助金 2,651千円 (イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザル含む)</p> <p>④狩猟免許取得補助金 67千円</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 55 頭</p> <p>発信機装着の増設数 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p>	
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1)看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。</p>	<p>被害状況の確認時に遊休農地の刈り払いの呼びかけを実施した。</p>
<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>	

令和4年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

丸森町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ (3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根 (4) その他	0.10 ha 0.11 ha 162 千円 179 千円	1 被害状況 (1) 面積 0.10 ha (2) 金額 169 千円 (3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根 (4) その他		
2 被害防除対策 (1) 住民による自主防除対策への支援 (2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施		2 被害防除対策 (1) 住民による自主防除対策への支援 (2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施		年間被害対策費合計 1,634 千円 ・電気柵設置に対する補助により、受益者負担の軽減が図られ初期の目的が図られた。
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数	0 頭 50 頭 0 頭 3 頭	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 有害鳥獣捕獲による捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数		
4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。		4 生息環境管理 (1) 10月1日に町内全戸に耕作放棄地の除草や山林の適正な管理をお願いするチラシを配付した。		・全戸配布したことにより、住民の意識啓発に繋がり、耕作放棄地の除草及び山林の適正管理に関する理解が深まった。
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。		5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行った。チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図った。		・広大な範囲を巡回するため、発信機の装着は場所を特定するのに有効である。サルの群れを中心に追払いを実施し、実施隊員、パトロール員らの連携が効果的に行われている。

令和4年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

仙台市

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標	<p>(1)面積 2.1a未満 (R3被害面積 0.16a)</p> <p>(2)金額 21千円未満 (R3被害金額 5千円)</p> <p>(3)作物 野菜(トウモロコシ、カボチャ、ニンジン、ダイコン、ハクサイ、キャベツ、サトイモ) 果樹(カキ、クリ、イチジク)等</p> <p>(4)その他(人身被害・生活被害)</p> <p>生活被害や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1)面積 0.43a</p> <p>(2)金額 6千円</p> <p>(3)作物 野菜(カボチャ、ニンジン、大豆、ばれいしょ)</p> <p>(4)その他(人身被害・生活被害)</p> <p>人身被害 なし 生活被害 あり</p>	被害面積及び金額について、目標を達成することができた。	
2 被害防除対策	<p>(1)日常的な啓発・注意喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供</li> <li>・サルとの適切な接し方や被害防除対策について、市HP掲載や公共施設等への啓発チラシの配架等により周知啓発</li> </ul> <p>(2)出没情報を受けた際の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出没地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い・除草、電気柵設置等の被害防除対策の助言・指導</li> <li>・必要に応じて、花火による追い払いを実施</li> <li>・被害状況により、地域特性に応じた追い上げや箱わな等による捕獲を実施</li> </ul>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1)日常的な啓発・注意喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供。</li> <li>・市ホームページや啓発チラシにより、サルとの適切な接し方や被害防止対策、農作物収穫後の残さ処理等について啓発。</li> <li>・啓発チラシを公共施設等へ配架。</li> </ul> <p>(2)出没情報を受けた際の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、花火による追い払いや、出没地域の周辺住民への被害防止対策の助言・指導を実施。</li> <li>・宮城総合支所管内、秋保総合支所管内において、箱わな等による捕獲を実施。また、秋保総合支所管内で大規模追い上げ・捕獲を実施。</li> </ul>	年間被害対策費合計5,956千円 計画どおり日常的な啓発や、追い払い・捕獲を実施したことに加え、サルの群れの動向を地域の方向けに公開する「サル群れ情報マップ」を提供。	
3 個体数管理	<p>有害鳥獣捕獲における想定捕獲数 91頭</p> <p>発信機装着の増設・更新数 13頭(GPS装着の1頭を含む)</p> <p>(1)群れの位置情報の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電波発信機やGPS発信機装着により、群れの位置情報を把握</li> </ul> <p>(2)捕獲対策(人里に馴れ、山に戻らない群れへの対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箱わな設置や定期パトロールによる捕獲の実施</li> <li>・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施(6基)</li> <li>・地域特性に応じた追い上げ・捕獲の実施</li> </ul>	<p>3 個体数管理</p> <p>有害鳥獣捕獲における捕獲数 42頭</p> <p>発信機装着の増設・更新数 7頭</p> <p>(1)群れの位置情報の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に生息する群れ15群のうち、11群に電波発信機を装着。</li> <li>(2)捕獲対策(人里に馴れ、山に戻らない群れへの対応)</li> </ul> <p>・箱わなによる捕獲 30頭</p> <p>・大型捕獲施設による捕獲 1頭</p> <p>・銃器による捕獲 11頭</p>	個体数管理(被害の防止)における捕獲を行った。想定捕獲数を下回ったものの、群れ評価の悪い個体を優先して捕獲し、農作物被害低減を図っている。 電波発信機の装着について、サルの群れが主に山中を利用したことから、麻酔銃捕獲・発信機装着作業が難航し、目標数を達成できなかった。	
4 生息環境管理	<p>群れの位置情報を適切に把握し、地域特性に応じた追い上げや捕獲を実施</p> <p>・出没地域周辺の刈り払いや除草、電気柵設置等の推奨</p>	<p>4 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・群れの位置情報の把握を随時行うとともに、市鳥獣被害対策実施部隊が主体となり、追い上げや捕獲を実施。</li> </ul>	計画どおり広報啓発及び追い上げ・捕獲等を実施。	
5 その他		5 その他		



令和4年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

大和町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ 0.00 ha R3被害実績→ 0.00 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 0千円 R3被害実績→ 0千円 (3) 作物 (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 0.00 ha (2) 金額 0千円 (3) 作物 (4) その他			
2 被害防除対策 (1) 電気柵、防護柵の設置に対する補助 (2) (3) (4)	2 被害防除対策 (1) 電気柵、防護柵の設置に対する補助 (2) (3) (4)			年間被害対策費合計 0 千円 被害なし
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 0頭 発信機装着の増設数 0頭 発信機装着の更新基数 0頭 (1) (2)	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 0頭 発信機装着の増設数 0頭 発信機装着の更新基数 0頭 (1) (2)			被害なし
4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草の呼びかけ	4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草の呼びかけ			被害なし
5 その他 (1)	5 その他 (1)			

令和4年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

山元町

R4計画	R4実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ 0.03 ha R3被害実績→ 0.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 108 千円 R3被害実績→ 0 千円</p> <p>(3) 作物 リンゴ、野菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 0.00 ha</p> <p>(2) 金額 0 千円</p> <p>(3) 作物</p> <p>(4) その他</p>	<p>目撃情報は寄せられたが、被害等はなかった。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。</p> <p>(2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。</p> <p>(3) 生ごみや未収穫農作物を適正処理するよう農家へ周知。</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。</p> <p>(2) 実施なし</p> <p>(3) 生ごみや未収穫農作物を適正処理するよう農家へ周知。</p>	<p>年間被害対策費合計 2,676 千円 被害等が増えるようであれば様々な防除策を検討する必要がある。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 10 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 0 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>(1)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>(1) (2)</p>	<p>今後は、初動対応として追い払い用の花火を農家個々で実施してもらい、それでも被害が拡大するようであれば捕獲等の対応をしていく必要がある。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) リンゴ等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。</p>	<p>放置した農作物が誘因の原因(餌付け)になっていることも考えられるため、引き続き農家に周知を徹底する必要がある。</p>
<p>5 その他 (1)</p>	<p>5 その他</p>	

令和4年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

加美町

R4計画	R4実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ 1.04 ha R3被害実績→ 1.30 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 644 千円 R3被害実績→ 806 千円</p> <p>(3) 作物</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 1.33 ha</p> <p>(2) 金額 8,945 千円</p> <p>(3) 作物 果樹、野菜</p> <p>(4) その他</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵による畑への侵入防止。 (2) 被害防除機材への導入助成。 (3) 音火花による追払い。 (4) 箱わな、銃器による捕獲、威嚇 (5) サル用囲いによる捕獲</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵による畑への侵入防止 (2) 被害防除機材の導入助成 (3) 音火花による追払い (4) サル捕獲用囲いによる捕獲</p>	<p>年間被害対策費合計 33,321 千円 昨年より被害が増加、一つの群れが町場を中心に活動しており、音火花などで追払い等を実施しているが効果が薄いため、捕獲用囲いなどを活用し、捕獲中心の対策に努めていきます。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 50 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 (1)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 15 頭 発信機装着の増設数 頭 発信機装着の更新基数 頭 (1) (2)</p>	
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進 耕作放棄地の刈払いの推進</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 町HPでの捕獲事業の周知</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進 (2) 耕作放棄地の刈払いの推進</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 町のHPでの捕獲事業の周知</p>	<p>放置された果樹の収穫及び耕作放棄地の刈払い(整備)を呼びかけた。  町のHPなどで支援対策事業などを掲載し、広く町民に周知した。</p>